

2020年度 「環境政策」 (後期金曜日 5-6限) について

担当 西村尚之 石川真一 西村淑子

「環境政策」では、野外実習と実験機器等を使用する内容を含むため、受け入れ受講生数は最大20名とします。1回目からは当面、教養教育GA棟2階の共通実験室(GA210A)において対面形式で行いますが、一部を土曜日・日曜日または集中講義期間中に対面形式で実施する予定です。

受講希望者は

nishinao あつと gunma-u.ac.jp

または

ishikawa-si あつと gunma-u.ac.jp

あてに、氏名を記入してメールをお送りください。メールの先着順に受講を認め、20名で切り
ます。

また、この後の時限(後期金曜 7-8 時限)に開講される「環境政策実習」の受講を希望する学
生は、必ず「環境政策」を同時または事前履修してください。

「環境政策実習」のみの履修は認めません。

初回講義のガイダンスは10月2日の12時40分(金曜 5-6 時限)より行います。やむを得な
い事情によりガイダンスに出席できない場合には、至急メールで連絡してください。

環境政策実習、環境アセスメント実習IIの受講を希望する場合は、同時にガイダンスを受けることができます。

授 業 日	授 業 の 概 要	担 当 教 員
10 月 2 日	ガイダンス・人数確定	西村尚・石川
9 日	環境政策策定の基礎	石川 (I-1)
16 日	環境政策策定の基礎 (1) 生物多様性の計測と評価方法	石川 (I-2)
23 日	環境政策策定の基礎 (2) 生物多様性の計測と評価実践	石川 (I-3)
30 日	生物多様性データ解析の手法・まとめ方	石川 (I-4)
11 月 6 日	地域自然環境保全に関する政策 (1) 森林の生態系サービス	西村尚之 (II-1)
13 日	地域自然環境保全に関する政策 (2) 森林生態系の構造と機能	西村尚之 (II-2)
20 日	地域自然環境保全に関する政策 (3) 森林生態系の評価方法	西村尚之 (II-3)
27 日	地域自然環境保全に関する政策 (4) 森林の保全対策	西村尚之 (II-4)
12 月 4 日	環境と法律 (1)	西村淑子 (III-1)
11 日	環境と法律 (2) 実例に即して	西村淑子 (III-2)
18 日	環境と法律 (3) 実例に即して	西村淑子 (III-3)
25 日	通常講義なし	
1 月 28 日	環境と企業経営(1)	齋藤与司二 (IV-1)
または 29 日	環境と企業経営(2)	齋藤与司二 (IV-2)
集中講義	環境と企業経営(3)	齋藤与司二 (IV-3)
2 月 5 日	試験期間 (レポート作成提出)	

<成績評価方法>

各ターム (I-IV) の最後の時限にレポートを課す。レポートの成績は点数化し、各タームの成績の平均をもって、最終的な成績とする。

レポートの〆切、提出先等は、各担当教員の指示に従うこと。

<人数制限・使用教室>

ターム I-II で実験機器を使用するため、そのキャパシテイから受け入れ受講生数は最大 30 名とする。

受講希望者は、講義開始前に受講受付用紙 (別紙) に学生番号・氏名を記入すること。先着順に受講を認め、30 名で〆切る。

ターム I-II とグループワークでは実験機器等を使用することから、講義は教養教育 GA 棟 2 階 210 室 (共通実験室) で行う。また西村淑子先生 (III) および齋藤与司二 (IV) の講義は、社会情報学部棟 610 演習室で行う。

<野外実習 (環境計測) 時の服装>

女性はズボンと運動靴 (のようなもの) にすることが望ましい。

<環境政策実習との関係>

環境政策に引き続く時限 (後期金曜 7-8 時限) で開講される「環境政策実習」の受講生は、必ず「環境政策」を同時または事前履修すること。「環境政策実習」のみの履修は認めない。